

計画の概要について

● 計画の形態

- ・ それ自体がメディア、バイブルとして使っていけるようなものとする。
- ・ 内容をホームページ等で公開するほか、情報誌のような形で冊子を作成する。
- ・ 表現やデザインも読みやすさを重視し、イラスト等を盛り込むことも検討する。

● 目次と内容

0 序文

- ▶ 委員長による趣旨説明、メッセージ

1 ○○計画とは

- ▶ 何のために作ったか、既存計画との関係性、策定経緯、検討委員会の位置づけ、計画期間、市としての方針

2 中心市街地に見る鳥取らしさ

- ▶ 現状と課題、可能性（既存資源たる人・物・事、新しいまちづくりの動き）

3 ○つのビジョン

- ▶ 目指す具体の方向性とそのために実行していく取組み、プレイヤーと役割
- ▶ エリア設定が必要な取組みについてはこの中で触れていく

4 目指すまちの未来

- ▶ ○年後にこういうまちに、計画指標（数値的目標）

5 計画策定を経て

- ▶ 委員一人ひとりの言葉

6 データ

- ▶ 中心市街地データ集、既存施策集、遊休不動産リスト（又は出会い方）、リノベーションスクールデータ、相談先等

計画の内容(これまでの議論から)

「タイトル」～鳥取市リノベーションまちづくり計画～

0 序文

- ▶ 委員長による趣旨説明、メッセージ

1 鳥取市リノベーションまちづくり計画とは

(1) 策定趣旨

(2) 計画の位置づけ（市としての方針）

- ・ 鳥取市中心市街地活性化計画との関係性
- ・ 市が、民間に寄り添い、協働していくための計画

(3) 計画検討委員会について

- ・ 設置要綱上の位置づけ
- ・ 委員会メンバー

- (4) 計画期間（随時見直し）
 - ・5ヵ年計画とし、1年ごとにフィードバック、随時見直し
- 2 中心市街地に見る鳥取らしさ
 - (1) 中心市街地の現状と課題
 - (2) リノベーションまちづくり・計画策定を通じて見えてきた現状と課題
 - (3) 可能性の提示（既存資源たる人・物・事、新しいまちづくりの動き）
- 3 ○つのビジョン
 - (1) まちの資源を使おう
 - （遊休不動産の可視化又は出会う方法づくり）
 - ・具体の取組み
 - (2) 欲しい情報を見やすくしよう
 - （ニーズ、アイデア、人や動きの出会う場づくり）
 - ・具体の取組み
 - (3) チャレンジしやすくしよう
 - （チャレンジャーやおせっかいな動きを支える仕組みづくり）
 - ・具体の取組み
 - (4) 働く場をつくろう
 - （プレイヤーの掘り起こし手法、インキュベーション機能の設定）
 - ・具体の取組み
 - (5) いくつになっても楽しめるまちにしよう
 - （高齢者を支える・世代間交流の仕組みづくり、子供たちのまちへの関わり）
 - ・具体の取組み
 - (6) 自分のまちにしよう（人材育成、不動産オーナー等への普及啓発）
 - （RS開催、まちに対する意識を持つ人を増やす仕掛、遊休不動産の流動化方策）
 - ・具体の取組み
 - (7) 家守になろう
 - （家守のなり方、育成方策）
 - ・具体の取組み
- 4 目指すまちの未来
 - (1) 目指すまちの未来像（目標）
 - (2) 目標達成の目安となる指標
 - ・歩行者通行量
 - ・この計画に関連した遊休建物活用・プロジェクト数
 - ・地価
 - ・家守チーム数
- 5 計画策定を経て
 - ▶ 委員一人ひとりの言葉
- 6 データ
 - ▶ 中心市街地データ集、既存施策集、遊休不動産リスト（又は出合い方）、リノベーションスクールデータ、相談先等